

ネアカ のびのび へんろれず



Vol.7

有朋会
2011年4月発行

神戸支部・大阪支部を 新たに設立します！

有朋会では2012年の同窓会創立記念事業の一環

として、新たに「神戸支部」「大阪支部」を設立します。

現在の有朋会は、関西を中心とした有朋会本部と国内・海外を含めた7つの支部で構成されています。

今回、特に会員数の多い神戸地区と大阪地区に支部を設立することで、同窓生同士の交流やイベントの開催などに柔軟な対応が可能な体制へと変わります。

これにより、有朋会全体より活発な活動に結び付け、従来から掲げている「母校の発展」と「会員相互の親睦を深め、より豊かな社会生活のサポート」という目標を達成したいと考えます。

また、今後は神戸・大阪両支部共に、定期的な集まり・交流イベントを企画して参ります。

大阪支部はハービス大阪に移転した流通科学大学大阪オフィスを拠点とし、神戸支部も同窓生の集まれる場所づくりを現在検討しております。

尚、両支部「初」の活動として、2011年前半に神戸支部・大阪支部それぞれの設立総会も予定しております。(合同開催も検討されています) 詳細が決まり次第、ホームページ等でご案内致します。

20周年記念企画めじろ押し！

有朋会は2012年に創立20周年を迎えます。

それに伴い、有朋会のより活発な活動へと結び付くように、今年度は「新支部設立」「研修日帰りバスツアー」「宿泊セミナー」「ホームカミングデーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」などの企画を実施いたします。

「新支部設立」では、最も会員数の多い関西エリアで、より柔軟な会員同士の交流がもてるよう、神戸支部と大阪支部を設立します。

「日帰り研修バスツアー」では、有朋会員とご家族を対象とし、日帰り楽しめるバスツアーを企画します。焼き物体験やバーベキューなど家族ぐるみでの親睦が深められる内容を予定しています。

また「宿泊セミナー」では、主に社会人向けのケースを主体にしたビジネススキルセミナーを予定しています。

そして、今年1番の目玉としては「ホームカミングデー」を拡大実施いたします。

例年8月の第1土曜日(今年は8月6日)に開催されているホームカミングデーに加え、流通シンポジウム・学園祭(集まれ同窓生)をホームカミングデーと位置付け、母校に同窓生が集って交流できる企画を充実して参ります。

このように、今年度は記念企画がめじろ押しとなっております。みなさん、お楽しみに！



有朋会入会記念パーティー

813名の新有朋会員が誕生しました



カメラマンは大変だったかもしれませんが、今年も卒業生の笑顔がたくさん撮れました。

撮影後、有朋会副会長永田知靖氏から主催者挨拶があり、先輩社会人としてのアドバイスをそえて有朋会への入会歓迎の言葉とともに今回規模縮小して開催した主旨を述べられました。挨拶に続き、卒業生代表による乾杯が行われ、いよいよパーティー本番です。例年は多くのクラブがお祝いの出し物を披露してくれますが、今年はお祭りムードを自粛して同窓生による日本舞踊とお楽しみ抽選会のみ行われました。

3月19日(土) 2010年度有朋会入会記念パーティーが開催されました。
3月11日(金)に発生した東日本大震災の影響を鑑みて、今回はアルコール類を出さず、ステージイベントや時間を短縮するなどして浮いた費用を被災地に届ける内容で実施しました。

まず全員で記念撮影!

今回も同窓生やスタッフが、全員写るよう卒業生や教職員の皆様に会場の中心へ誘導していましたが、さすが800人もの方がいるとそれだけでも賑やかなイベントとなりました。



花柳流師範花柳羽訂さん(本名増田晴子さん)が披露された「七福神」の舞は、賑やかでおめでたいご祝儀ものの踊りですが、花柳羽訂さんが魅せる動きの艶やかさと所作の美しさも相まって会場の卒業生はうっとりみとれていました。日本の美を初めて堪能されてのではないでしょうか。

一転してお楽しみ抽選会は大盛り上がりでした。ステージでくじ引きが行われ、当選者が発表される度に会場各所から歓声が沸いていました。当選者がステージに上がり司会者から賞品を受け取るのですが、時には本人だけではなく10数名の仲間が大集合、その場で記念撮影という幕もありました。

規模縮小したパーティーでしたので少し心配しましたが、有朋会入会への歓迎の気持ちと参加した卒業生たちの盛り上がりは例年通りでした。



2010年度卒業式

3月19日、2010年度卒業式が行われ、813名の学生たちが新たに羽ばたいていきました。

今年はその開催に先立ち、先の東日本大震災で犠牲になられた方へ黙とうが捧げられました。

式ではまず石井学長から「社会人と言う長い人生の中で、思いやる心が幸せな気持ち呼ぶ。人と人とは絆こそが財産である。」との式辞があり、続いて中内理事長から「社会人の第一歩は、感謝の気持ち、を伝える事。次にプロになる事。プロに必要なのは技能以上に『あきらめない心』を持ち続ける事。」との祝辞が学生たちに贈られました。

有朋会からも18期生の松本美保さんが、新社会人としての心構えなどを、先輩社会人として伝えられていました。

歴史や過去を 学ぶ大切さ

僕はRYUKA三二講座3人目の担当者なので、だが、恥ずかしいことに3番を打たせてもらうほど力量のあるバッターではないし、さしたる学識経験がなく、ピッチャーを威圧するほど睨みを聞かせることができないし(体重こそ増えつつあるが、人間的な重みに欠け)、チームメイトから信頼を得ているわけでもない(単に年齢を重ねただけのオヤジである)。でも、これから3回に分けて書けることといったら、せいぜい日頃の雑感程度にすぎないのであるが、それでも善意に満ちた心温かい方で、もし3回連続で読んで頂ける方がおられたならば、ぜひ連載終了後に、旨い肴で一献傾けさせていただきたいものだと思しみにしている。

まず初回の話題は、歴史の大切さについてである。歴史といっても歴史家でない僕にきちんと歴史が語れるはずもないのだが、最近ちょっと歴史の大切さに思い至っている。きつかけはもう15年ほど前になるだろうか、知り合いの韓国財閥サムソングループの流通担当者を訪ねてソウルに行ったときに、サムソンが保有する博物館を案内してもらって驚いたのだが、彼が実によく韓国の歴史を知っているのである。特に専門に学んだわけではな

いとのことであったが、文化から政治から日韓関係史まで実に博識であった。それと比較して高校で学んだ程度の知識しかない自分が恥ずかしくてたまらなかつたものである。そんな昔を思い出しつつ、いま考えることは、歴史は国だけにあるのではなく、個人にも家族にもそしてどんな組織にも存在するのだという当たり前のことであり、現在では過去の積み重ねの上で成り立っているという事実である。最近あちこちでイノベーションがもたらされていくが、それとも過去のとの繋がりの上にこそ発生するものであって、突然変異的にある日バツと出てくるものではないのである。我々は、老舗が長らく生き続けてきたのは、古いものを営々と守ってきたからではなく、逆に連続的に新しいことにチャレンジしてきたからこそだという事実をよく知っている。それと同じで、新しいことを成し遂げるためには、まず地道にコツコツと積み重ねることが肝要であって、過去をいきなりバツサリと切り捨てて今から革新を行うと宣言しても、それは無理というものである。温故知新という言葉は、まさに本質を言い当てている。

歴史というものは、長い時間経過に伴って、ある一つの軌道を描き続けている。軌道という自分の後ろにだけ見いだせるものと思ってしまうかもしれないが、決してそうではなく、軌道は過去の道を示すだけでなく、未来のベクトルをも示すものである。多くの学生は卒論を書くとき、その問題が将来どうなっていくのかを考えたこと口走るが、そんな未来を予測しようとしても無駄であるので、僕はいつも言う、「過去を分析せよ。そうすれば未来が見えてくる」と。過去を無視して、未来を考えようとするとは口なことにならない。

卒業生の中には、そろそろ管理職が近い方もいるかもしれないが、やる気を出して新しいことをやろうとするのはいいのだが、自分の部署の歴史や会社の歴史、前任者がやったことやれなかったことなど、その組織の歴史を十分に踏まえたいうえで、何をすることがイノベーションなのかを見いだす、その実現のために邁進してもらいたいものである。歴史を知らずして、自分のやろうとすることが過去になかった革新なのだとは判断できるはずはないのだからね。



総合政策学部 総合政策学科
向山 雅夫

卒業してからも受講できます。

1 特別講義の聴講ができるようになりました。

実際に役立つ知識を吸収する場として、仕事に生きる学問を身につける良い機会です。

2 資格取得講座／オープンカレッジの受講料割引制度があります。

お申し込みの際は卒業生である事をお申し出ください。

申込方法等 詳細は有朋会ホームページをご覧ください。

2011年度後期特別講義

ツーリズム特講

木曜 3限 6302教室

4月21日(木)	国土交通省 観光庁	次長 武藤 浩 氏
5月12日(木)	由布院温泉観光協会	会長 桑野和泉 氏
5月26日(木)	(株)ジェイティーピー	常務取締役 清水慎一 氏

教養特講

水曜 3限 6301教室

4月20日(水)	(株)流通・まちづくりコンソーシアム	取締役 及川恒弘 氏
5月25日(水)	(株)BACアーバンプロジェクト	代表取締役 矢木達也 氏
6月29日(水)	(株)ダイナミックマーケティング社	代表取締役 六車秀之 氏

※上記以外にも、多数講義があります。

産学連携 加藤産業とカレー共同開発

流通科学大学の足立明ゼミの学生が、社会連携企画の1つとして、食品卸売の加藤産業(株)と食品メーカーのヤマモリ(株)と共同企画し、流通科学大学オリジナルレトルトカレーとして、すき焼き風味のカレー「RYUKA語録」を開発しました。



今回学生達は、カレーのコンセプトを考える中で、「流科大らしさ」にこだわり、そこで流科大といえばやはり、本学創設者の中内功さん。その中内功さんが本学創設のきっかけにもなっている戦争体験のエピソードの1つである「すき焼き」、それに大学に来られたときによく召し上がっておられた学食カレーをアレンジしてレトルトカレーにしました。

薄切りの牛肉を具材に使用し、砂糖、醤油、鰹だし汁をしっかり効かせ、隠し味に赤ワインを使い、すき焼き風の味に仕上げました。

3月9日(水)から3日間、神戸国際展示場で開催された総合食品展示会で、新商品として紹介され、約1500人の方が試食されました。今までにない味でとてもおいしいと大好評でした。4月中旬に390円で発売予定です。学生時代を呼び起こしそうなカレーかもしれませんので、是非食べてみてください。

退職されました

流通科学大学における「学びと出会い」

商学部教授(中小企業論担当) 高田 亮爾



私は、1988年流通科学大学が開学すると同時に、中小企業論担当の教員として就任させて頂きました。以来、23年が経過しましたが、このたび2011年3月末をもって定年退職致します。

この間、多くの学生諸君との出会いを経験してきましたが、とりわけ卒業生として送り出した約250人のゼミ生諸君との思い出は尽きないところです。多くの教え子たちが卒業後、さまざまな分野で、それぞれが成長・活躍している姿をみることは教師冥利に尽きる思いで、大きな喜びです。社会人となり、大きく成長しているのは、そのベースに流通科学大学における貴重な「学びと出会い」があることを改めて強く感じています。

私自身は、定年退職後のんびりしようと思っておりましたが、縁あって急ぎよ某大学の客員教授に就任することになりました。もうしばらく、教育・研究に携わることになります。なにしろ、天職だと思っている大好きな教育・研究に携わりながら、これからも社会に少しでも貢献できるとすれば、これほど嬉しいことはありません。同時に少々趣味も嗜みつつ、人生を楽しんでいこうと思っています。

卒業生諸君の今後一層のご活躍・ご発展を祈念しています。

支部会 ニュース

中部支部

初対面でもすぐに和気あいあい

支部長/平田 雅輝 (94年3月卒)

2月5日、2011年初の交流会はセントレアを会場に開催されました。

先輩後輩、約20年近い年の差も気にすることなく、またほとんどの方が初対面同士にも関わらず、大変和気あいあいとした雰囲気の交流会でした。



東日本支部

ホームカミングデー in TOKYO

副支部長/竹内 裕 (95年3月卒)

もはや東日本支部恒例のイベントとなりつつあります。

今回は高橋信夫氏をお招きし「先輩ビジネスマンからの助言～上司の活用と部下の育成～」というテーマでお話頂きました。「明日から実践します!」との声上がる程に大好評でした。



台湾支部

向山先生を囲んでの勉強会

副支部長/李 宗翰 (大学院07年3月修了)

2010年12月21日台湾支部の集いが行われました。

向山先生をお招きしての勉強会、その後は懇親会と、国内の支部に負けない位、盛り上がっていました。



退職された大学職員

流通科学大学における「学びと出会い」

流通科学大学の創設からずっと大学運営に携わってこられた3名の名物職員が、この度3月31日付で定年退職されました。最終出勤日の全体朝礼で理事長から感謝状と記念品が手渡されました。大学創設にかかわる喜びや苦しみをたくさん経験されたこの3名の職員の方から、同窓生へのメッセージを頂きましたので、ご紹介致します。

中/川端 志朗氏 1985年着任(庶務課) 現在、総務人事課所属

1985年に流通科学大学の設立準備室に来てから26年が経ちました。最初の入学試験のときの緊張は今でもはっきり覚えています。本学の益々の発展を確信しております。

右/山住 信裕氏 1987年着任(学生課) 現在、社会連携推進課所属

流科大での1番の思い出は課外活動クラブの創設にかかわれたことです。現在あるクラブ内のルールは当時の学生が自分達で作ったものが原点になっています。創設期の学生達は大学に頼ることなく、自分達で考え、大学生活を充実させようと大いに知恵と汗を出し合ったものです。そういった学生を輩出できたことが流科大が社会的に評価された大きな要因の1つとなったはずです。

左/安藤 恒広氏 1987年着任(教務課) 現在、有朋会兼中内功記念館所属

大学にきて24年も経ったとはとても実感できません。外見は社会と同じく大きく変わりましたが、「神戸に流通科学大学あり」と言われる大学にしたい気持ちは今も当時のままです。卒業生が出るまでどんな大学になるか未知数であるにもかかわらず、入学されてきた同窓生の皆さんの活躍している情報に触れるたびに、この仕事に携わってきてほんとうに良かった、幸せだなと実感しています。これからも楽しみにしています。

異動報告のお願い

姓名、住所、電話番号、勤務先等の変更がありましたら、有朋会事務局までお知らせください。変更手続きは有朋会HP、携帯サイトからでもできるようになっています。

※住所、氏名等の変更手続きがなければ郵送物(会報誌等)が未着となりますので、必ずご連絡くださいますようご協力よろしくお願い致します。

企画発行元

有朋会事務局

〒651-2188 神戸市西区学園西町3丁目1番
TEL:078-796-4397 FAX:078-796-4124
E-mail:umds_yuho@red.umds.ac.jp

有朋会HP URL <http://www.yuho-kai.com/>
大 学HP URL <http://www.umds.ac.jp/>